

平成30年度第1回市民と市長の対話集会

# 市長と語ろう！

## ほっとミーティング

テーマ ひらつかの「子育て・高齢福祉・安心安全」

### 開催結果報告書

- 1 開催日時 平成30年（2018年）4月25日（水）  
午後7時から午後9時まで
- 2 開催場所 八幡公民館 2階大ホール
- 3 参加者 4人 傍聴者 17人



ほっとミーティングの様子

## 4 市長あいさつ

皆さんこんばんは。本日はお忙しい中、「市長と語ろう！ほっとミーティング」に御参加いただき誠にありがとうございます。

また、皆さんにはそれぞれの立場で、地域また市内のまちづくりに尽力いただいております、重ねて御礼を申し上げます。

ほっとミーティングは、地域の皆さんのお話を伺い、御意見や御提案を市政に反映することを目的とし取り組んでいます。平成23年、市長に就任した一期目は東日本大震災が発生した直後だったこともあり、安心安全をテーマとした対話集会を行いました。翌年は、それぞれの地区の魅力を活かすような意見を伺うため、まちづくりをテーマとして実施しました。

平成27年の二期目以降は、今後目指すまちづくりの計画として策定した新たな総合計画、「ひらつかNEXT」を基にした対話集会を実施しています。

御存じのとおり、全国規模で少子高齢化が進み、人口が減少しています。本市も例外ではなく、行政運営が継続できるかどうか厳しい時代を迎えています。本市では、平成22年11月の26万863人をピークに人口が減っている状況です。ここ数年で人口は戻りつつあるものの、依然として厳しい状況です。神奈川県も、来年をピークに人口が減っていくのではないかと聞いています。

国からは、自治体が存続するため、それぞれの地域で抱えている課題を踏まえ、将来を見据えた戦略をたてるようにとの指示がありました。

そこで、平塚市は今後目指すまちづくりの計画として、新たな総合計画「ひらつかNEXT」を策定しました。計画の重点施策を、「強みを活かしたしごとづくり」と「子どもを産み育てやすい環境づくり」、「高齢者がいきいきと暮らすまちづくり」、「安心・安全に暮らせるまちづくり」として、このほっとミーティングでは、「子育て・高齢福祉・安心安全」をテーマに、市民の皆さんから率直な御意見を伺って市政に反映したいと考えていますので、よろしく願います。

## 5 主なミーティングの内容

### ①子育てについて

#### 【参加者】

八幡地区には子どもの家がありません。子どもたちが遊ぶ場所として、こうした施設が身近にあれば、伸び伸びと遊ぶことができると思います。

#### 【参加者】

八幡地区では、社会福祉協議会と町内福祉村で子育て関係の事業を展開しています。会場は公民館と自治会館の2か所を使っていますが、少ないと感じます。積極的に事業を進めていくためにも、利用できる公的施設の整備が必要ではないでしょうか。

#### 【参加者】

親の立場としては、子どもたちが遊べる施設が近くにあれば便利です。しかし、施設が無ければそれを前提として考えればいいと思います。どう遊ばせて、どう育てていくのかを意識することが大切です。施設が本当に必要であれば、同じ考えを共有した方々と一緒になって、時間をかけて市に意見を伝えていくべきだと考えます。

#### 【市長】

御意見にありましたとおり、お子さんが自由に遊ぶ場所として、「子どもの家」が市内に4か所あります。横内には「横内子どもの家」、山下には「山城子どもの家」、高浜台には「みなと子どもの家」、中原には「大野子どもの家」があります。

「子どもの家」以外にも、子育てをしている親御さんやお子さんが気軽に交流できる場として、「つどいの広場」が市内に4か所あります。紅谷町には「もこもこ」、四之宮には「きりんのおうち」、公所には「どれみ」、夕陽ヶ丘には「ぼけっと」があります。それぞれに相談員がおり、子育て相談を受けることもできます。

ただ、こうした施設だけでは需要を満たしていません。真田・北金目地区では区画整理が完了し、住宅が増えていますし、ららぽーと湘南平塚店の周辺には共同住宅ができました。大神でもツインシティのまちづくりを進めています。

今後も、多くの需要が見込まれることから、効果的な施設の配置を考える必要があります。本来であれば、各地域に配置したいところですが、現実的に難しい面がありますので、総合的に考慮し検討していきたいと思います。

また、地域の活動拠点についてですが、地域によっては公民館の中に町内福祉村を設置しているところもあります。実際には、新しく場所を確保すること

が難しいため、今後、他の公的施設の有効活用という観点から、活動拠点の整備について検討を進めていきたいと考えています。公的施設自体も必要に応じて集約し、再編を進める必要が出てくるかもしれません。ただ、一概に減らせばよいというわけではありません。効率的かつ効果的な整備の進め方を検討する必要があります。

嬉しいことに、昨年から本市の人口は増加しています。中でも、1月末に総務省が発表した住民基本台帳に基づく人口移動報告によると、本市は県内で6番目に転入者が多く、特に0～4歳児については、241人と県内で一番多い人数でした。しかし、その反面、待機児童の増加に歯止めがかかっていません。人口増加は嬉しいのですが、持続可能で魅力的な街にするためにも、引き続き、対策を講じていかなければなりません。

## ②高齢福祉について

### 【参加者】

昨年から、西八幡で開発事業が進んでおり、多くの宅地が整備されています。今後60棟以上の住宅が建つ予定で、転入してくる若い世代が増えると予想されます。社会福祉協議会や町内福祉村としては、高齢者の方々はもちろん、若い世代に対しても効率的な支援ができるように対応しなければなりません。そのためには、お住まいの方々の家族構成や要望事項などの情報を収集したうえで、活用したいと考えています。

しかし、個人情報であることから収集に莫大な労力と時間がかかるため、積極的な支援が難しいという実情があります。

### 【参加者】

個人情報の提供を不安に思う方や提供を拒否する方もいます。しかし、提供がないことで本来受けることができる支援を受けられず、不利益を被る可能性があります。

市に対して、すべてを頼るわけではなく、地域の結びつきを改善した上で問題解決を図るべきです。そのためには、近隣住民のコミュニケーションが活発でなければなりません。しかし、情報の収集や管理については、課題が多くあります。

### 【市長】

行政の提供した情報が悪用され、安全が脅かされた事例もあります。個人情報の取り扱いについては、慎重さが求められているのは当然です。その上で、適正な管理をして、何かあったときに対応できるようにするのが行政の役割だと考えます。特に災害時においては、どこにどういった方がお住まいかという

ことが分からなければ、効果的な支援や援助はできません。

本来であれば、お住まいの方から情報を発信してほしいのですが、強制的に進めることはできません。地域のつながりが希薄化していることが背景にあります。こうした問題の解決に向けては、地域課題を捉えていただいている自治会等と共に取り組んでいかなければなりません。それぞれの地域が熱心に課題解決を図っていることについて、本当にありがたく思います。地域での結び付きを強めること、それが地域づくりにつながると考えています。

#### 【参加者】

町内福祉村では、大きな柱として2つの事業があり、気軽に立ち寄れるサロンと、生活支援に関する相談に対応しています。支援を希望する方からお声をいただきますが、本当に支援が必要であろう方々が声をあげることができない実情が見受けられます。

確かに、個人情報関係で難しい面もありますが、こちらからアプローチをしていかなければならない部分もあります。

#### 【参加者】

平塚市には「平塚市歌」という、昭和27年に市政20周年の記念事業として発表された歌があります。以前から伴奏をしていて、行事の際に歌う機会を作っていますが、歌える方が少なくなっていると感じます。ふるさとである平塚を実感してもらうためにも、平塚市歌を小学校や中学校で、歌う機会を作ることはできるのでしょうか。

#### 【市長】

平塚市歌は歌いやすいメロディーですし、雄大な自然を表現した詩は感動的です。戦後復興の中から、発展を遂げてきた平塚市を象徴しているものだと感じます。

本市では、平塚市の魅力を発信するシティプロモーションを展開しています。そうした外に向かったPRも大切ですが、内に向かったPRも大切です。市民の皆さんに、平塚市に対する誇りをもってもらい、それを醸成していかないとイケません。そうした誇り、シビックプライドを持ってもらうためにも、後世を担う子どもたちに、平塚市歌に触れる機会を作っていければと思います。小学校や中学校で歌う機会を作ることについては、常時教育委員会に伝えているところですが、改めて働きかけていきます。

なお、市役所本館では、昼休み時間に平塚市歌をBGMとして放送しています。それぞれの窓口や食堂を御利用いただく際、聞くことができると思います。

### ③安心安全について

#### 【参加者】

八幡地区だけではありませんが、市内全域で明るさが足りていない印象です。特に、図書館や博物館の周辺は、街灯が少なく暗い印象なので、街灯を増やしてほしいです。また、八幡商店街にも街灯がありますが、もう少し照度を上げてもらいたいです。自治会等が窓口になって助成があると聞きましたので、対応いただけると助かります。

#### 【市長】

街灯については、商店街等で管理の難しくなったものが撤去されることに伴い、その代替として自治会からの要望に基づき、市が防犯街路灯を設置しています。併せて、電気代の節約や管理の簡素化のため、LED化を進めています。

暗いのでここに付けてほしい、という要望も多くありますが、細かく設置条件があるため、個別具体的に設置が可能かどうかを判断しています。

地域としても、防犯上設置すべき場所を把握していると思うので、そうした情報をいただきながら、必要な箇所には設置を進めていきたいと考えています。

また、防犯カメラを設置希望の自治会に対しては、申請をいただき補助をしています。プライバシーに配慮することは当然ですが、犯罪の抑止を目的とし安心安全に寄与するため、中心市街地や駅から、ららぽーと湘南平塚に至る商店街に設置しています。今後も必要な箇所を検討し対応していければと考えています。

#### 【参加者】

設置されている街灯はLED化が進み、明るさが向上しています。街灯の明るさと同様に、道路や歩道のバリアフリー化も進め、歩行者の安心安全につなげてほしいと思います。

また、気になる点として、自治会の加入率が低下していることが挙げられます。これによって、地域のコミュニケーションの希薄化が進みます。現在、八幡地区では64.3%くらいの加入率だと思います。平塚市としても、転入してくる方々に呼び掛けをしてもらえると助かります。もちろん、自治会としても、積極的な情報提供をすすめていかなければなりません。

#### 【市長】

自治会の加入については、加入するメリットを丁寧に説明しながら、積極的に進める必要があると思います。地域におけるつながりを持つためにも、地域ごとの良さを感じてもらうためにも、加入することで地域の活動を知ることができます。

いざというときに助け合い支援をしてもらう、そうしたメリットも含めて加

入への御理解をいただき、仕組みとして作っていかねばいいと思っております。地域の基礎になるものですから、本市としても啓発する努力をしなければなりません。

**【参加者】**

町内会で話題に挙がることは、ごみ問題です。平塚市として、将来的なごみ対策をどう考えているのでしょうか。

**【市長】**

ごみ問題については、ほっとミーティングでよく取り上げられる問題です。おかげさまで皆さんのお力添えをいただき分別収集及び減量化が進んでいます。

また、現在、本市ではごみ処理の効率化や環境負荷の低減を図るため、平塚市、大磯町、二宮町が相互に連携し、事業を広域的に推進していくことを目的とし、ごみ処理広域化を進めています。その一環で、市内の環境事業センターでは、1市2町のごみを合理的に処理しています。

ただ、これから更なる高齢化が進む中で、ごみ出しをどうするかという課題もあります。専門家で議論する廃棄物対策審議会では、戸別収集を進めていくという答申も示されており、具体的にしていかなければなりません。まずは、今年から来年にかけて検討し、地域を指定したうえで、試験運用を考えています。ごみ出しの有料化についても、すぐにというわけではないですが、引き続き、検討していかなければならない課題だと認識しています

## 6 市長によるまとめ

今日はありがとうございました。高齢福祉に関する内容で追加して御案内します。

本市では、高齢者福祉サービスとして3つの見守り事業を実施しています。「在宅時緊急通報システム」、「お話し見守り歩数計」、「はいかいSOS平塚」の3つの事業ですが、その中で「お話し見守り歩数計」について、利用対象者を拡大することとしました。今までは、高齢者のみの単身世帯を対象としていましたが、平成30年度より日中は独居状態となる高齢者世帯も利用することが可能になりました。歩数計機能を活用し介護予防に役立てていくほか、安否確認ができるので、日中家にいない御家族も安心することができます。

こうした公的な見守りサービスは積極的に使っていただきたいと思います。お近くの高齢者よろず相談センターで申請することができますので、御検討いただければ幸いです。

皆さんから御意見があったとおり、平塚市の良さは子どもたちの代から伝えていかなければなりません。地域それぞれに皆さんのつながりがあり、形作られた良さがあります。そうした地域の良さを伝えていくと同時に、絆を深めていくようにしなければなりません。行政として、皆さんと一緒により一層の地域づくりが展開できればと考えています。

いただいた多くの御意見を参考にし、市政に活かしていきます。今後とも、御支援、御協力をいただくようお願いいたします。



## アンケート結果報告

【アンケート回答数 14件】

問1 市長の説明や市長との対話はいかがでしたか。

よかった	6人
まあよかった	5人
どちらともいえない	1人
あまりよくなかった	1人
よくなかった	0人
回答なし	1人

問2 本日の「ほっとミーティング」の主な御感想について

- ・発言者が4名では少なく、少数意見となってしまう。
- ・進行する際、決まったテーマから細かな話題を提供したほうが発言しやすいのではないか。
- ・こうした対話集会を地道に積み重ねることで、市民意識の向上に繋がっていくと考えます。
- ・これからの自治会活動の参考になりました。
- ・今後もこうした対話集会を設けてほしい。
- ・司会進行が上手だったので、参加者から率直な意見が出ていた。
- ・意見のあった平塚市歌はぜひ普及してほしいと思います。
- ・地域に関する意見が少なかった印象です。
- ・八幡地区の良い面と悪い面がよく分かった。
- ・地域の問題点などをテーマにしてもいいのではないか。
- ・平塚市歌があるのを初めて知りました。